

## BizEarth 幹事会（2019年8月27日）議事録

●日時： 2019年8月27日（火）16:00～19:00

●場所： 国際航業丸の内オフィス（国際ビル7F）

●出席者：幹事（新井、伊東、井上、下田、向井田、）、高橋監事、藤川事務局

●議題

0. 前回議事録の配布と確認。

1. 活動計画と報告

（1）関係部門との連絡調整

・内閣府宇宙戦略事務局

→パブコメ提出が終了したことから、9月中を目途に勉強会のテーマが決まった段階で、高見参事官にアポを取る。その際にリモセン担当（中里さん？）を呼んでもらう（伊東さん担当）。

・リモセンTF会合

→六川先生・岩崎先生共に多忙もあるのかJpGUの後、動いていない。RS学会の事務局（伊東さん、向井田さんも参加）も特段の動きはなく、当面ウォッチしておくこととする。

→BizEarthとして実利用連絡会を受け取る協議が前回の幹事会であったが、TFとして動くならBizEarthとして動けばいいのでは。当面RS学会の整理を見て、必要であれば参加する。

・リモセン学会

→40周年を準備中、またISRS(2021)が島根県であることから、準備中。

→未来部会は、活動中。RS学会としては外部との連携を強化、BizEarthとの連携もある。

・JAXA

→特になし。新事業促進部はJ-SPARCを対応。JAXAとの共同研究の枠は従前どおり。

・総務省「宇宙利用の将来像に関する懇話会」

→特になし。本年度の活動計画はあり。

（2）企画・提案活動

・内閣府宇宙戦略事務局、宇宙基本計画工程表パブコメの結果

→幹事・役員以外からのパブコメ提案はなく、両者で作成した。パブコメ結果の共有を実施。

・経産省宇宙産業室（衛星データオープン＆フリー化等）

→さくらインターネットのBizEarth入会後に、一度オブザーバーで幹事会に呼び、意見交換をしてから訪問する（10月を予定）。

（3）作業部会

・地域連携作業部会

→引き続き、北海道、茨城県、福井県をターゲットにしているが、まずはウォッチをしている。なお茨城県については、新たにコンソーシアム立ち上げや補正予算を付けたこともあり、作業部会としてコンソ入るか、プロジェクトを作るとか、積極的に仕掛けていくか部会内で協議をしていきたい。

・若手作業部会

→現在3名追加となり、17名となった。活動としては6月20日に顔合わせ会を実施、本年度も引き続き、勉強会をする予定で、次回は10月ぐらいにSynspective社を呼んで実施したいとの事。

・新規作業部会について：リモセンTF会合実利用作業部会は？

→TF会合への参画については、当面は無しとする。様子を見て年度内に必要であれば調整に入る。

#### (4) 広報活動

- ・宇宙カタログ

→本幹事会で承認が出れば、これから本年度の宇宙カタログの改定に関するアナウンスを会員向けに発したい。なお、今後は各社の HTML を乗せることも含め検討する。それにより会社のサービスに連携させられると考えている。

- ・会員獲得活動 (さくらインターネット、スカパーJSAT、NTTデータ、他)

→さくらインターネットは入会の意思を明確にもらっているので、最終の確認を行う(藤川)。

スカパーJSAT については、八木橋さんに再度確認を実施(新井)、NTTデータについては大竹さんに確認を実施。

- ・個人会員の検討

→規約改定済み。特に無し。

- ・その他

→日本能率協会主催のテクノフロンティアという展示会が大阪で 2020 年 7 月にある。セミナーでのプレゼン、展示会出展の可能性を検討したい。同時開催で国際ドローン展がある。

#### (5) リモートセンシング人材の育成支援

→前回議事録の中の教材作りで作業部会を立ち上げる案がある。ESRI-J として社内確認の上、次回報告をしてもらうこととした。

#### (6) その他活動

- ・要処置事項討議・フォロー

→特に無し。

- ・情報公開 (HP)、新サーバ・メーリングリスト・ドメイン管理

→特に無し。

## 2. 勉強会

### (1)日程・スケジュール

→10 月 21 日の週及び 28 日の週で、山口会長のスケジュールも確認の上(確認: 新井)、選定。

→場所は、RESTEC 様の会議室をお借りする(第一候補)

### (2)内容

→いくつかの案について可能性を協議した。

① AI をテーマに深堀: 前回から 3 年たった。最新のリモセン分野での同行と適用について

② クラウドの Tellus: 昨年に引き続き、新たなクラウドサービスとしての適用について

③ インフラ維持管理でのリモセン利用: 国土強靭化をテーマに土木分野での SAR の適用

④ ドローンとリモートセンシング: ドローンのリモセン利用について(衛星ではないが)

⑤ SDGs、他: 国際貢献や SDGs にリモセンが適用できないか、等々

→新しい宇宙利用の潮流として、上記を組み合わせて、AI、クラウド、SDGs として良いか?

→協議の結果: 宇宙利用の新しい潮流として、次回の講演会と連携する事を前提に、AI の利活用の最前線について、勉強会を行うこととした。

登壇者は、以下の通りを候補として選定、調整を行っていく。

① RESTEC 様: リモートセンシング技術における AI 活用に向けた取り組みとして、AI の概要や事例紹介を頂く(確認: 新井)

② パスコ様: AI による建物自動抽出コンペの件及び都市変化マップや駐車場推計マップ等のチエンジディテクションについてプレゼン頂く(確認: 向井田)

③ Ridge-i 様: 宇宙産業におけるディープラーニング技術と展望と称して、Ridge-i 様にプレゼン頂く(確認: 向井田)

(3) 時間：1社あたり 25 分プレゼン、5 分質疑応答。  
全体討議を 60 分～90 分程度行う

### 3. 事務局からの報告、連絡事項

(1) HP の進捗（議事録掲載、総会資料掲載、ほか）  
→前回の幹事会議事録について、TF 関連で修正を行い、HP に掲載をする。

### 4. その他

(1)今後の幹事会開催予定  
→次回は、10月 16 日(水)ESRI-J で行う。

以 上